

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 国 語 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

書くこと、聞くこと、話すことに主体的に取り組むことができ、学んだ実感が持てる授業



授業・アンケート等の課題分析

前回のアンケートで課題となった④「目標が示されている」、⑦「学習内容を振り返る場面がある」に対する回答で、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」の合計が、④14%→0% ⑦14%→9%となり改善した。また、「自分の考えを書いたり、共同での活動、話し合い活動が与えられたりしている」については、「どちらかといえば当てはまらない」が17%→0%、「当てはまらない」が2%→0%となり、こちらも改善した。どの質問項目においても、概ね満足できる結果といえる。



成果と課題

成果

アンケートの数値の改善は、取り扱う単元により、自分の考えを書く活動や、話し合い活動があったりするので、進度による数値の変化も考慮に入れなければならない。しかし、今回のアンケート結果が年間通しての授業評価と言えるので、授業の改善は良い方向に向いていると言える。今後については引き続き、振り返りの時間を確保した授業を展開しつつ、生徒の記憶に残るような振り返りの工夫を実践していく必要がある。

課題

今後の課題として次のことを挙げる。

- ①授業の振り返りの工夫として、プリントなど記入できるフォーマットを用意し、学んだことをさらに意識させる。
- ②継続して積極的に授業に取り組めるように、生徒たちの自己肯定感を高めていく。そのために発問に対して間違えたとしても全て否定するのではなく、正解となる要素が生徒が答えた解答にも含まれていることを説明する。また、良い間違いと悪い間違いがあることを説明し、良い間違いは積極的に褒めていく。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 国 語 ） 学年（ 2 学年 ）

目指す授業

学習に対する自信と積極性をより高め、受験を視野に入れた学力の向上を狙った授業



授業・アンケート等の課題分析

質問項目にある②「授業に積極的に取り組んでいる」では、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」が14%→0%となり、⑨「『学ぶ楽しさ』を感じる」では、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」が11%→1%となった。質問項目全体において、数値的には改善されている結果となり、概ね満足できる結果である。これらの背景には教科指導だけではなく、進路指導や生活指導の場面で学習の必要性について指導した結果と、生徒自身の主体性が高まったことが要因であると考えられる。また、保護者による家庭学習の声掛けの成果も要因の一つとして挙げられる。



成果と課題

成果

国語に対する自信のなさや、それによる消極的姿勢により学習意欲が低下していたものの、本校生徒が得意とする協働作業を話し合い活動に取り入れたことにより、学ぶ意欲が高まったものと思われる。授業のみならず、休み時間に調査をしたり、話し合ったりする姿が見られ、家庭学習でプレゼンテーションを作成した生徒も見られた。ある程度、自由度を高めた内容と協働作業で進めていく学習が、本校生徒の積極性と学ぶ楽しさを高めるポイントになったと思われる。

課題

今後の課題として次のことを挙げる。

- ・より積極的に授業に取り組ませるために、タブレットなどのICTを使用しながら自分の意見を発表する授業を行う。
- ・生徒たちが興味を持っているAIを使用し、自分の意見をまとめる授業を行う。
- ・「学ぶ楽しさ」を高めるために、自由な意見が発表できるような課題を設定する。
- ・協働作業を伴う話し合い活動を行い、苦手なところをお互いにカバーできるような授業を構成する。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 国 語 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

受験を意識しつつも、「学ぶことの楽しさ」や「国語力は生きる力となる」ことを実感させる授業



授業・アンケート等の課題分析

3年生の後半は、受験を視野に入れた授業が増えるため、学力の向上は見込めるが、学ぶ楽しさや積極的な授業への参加について意欲が下がる傾向にある。数値には表れない、授業の本質的な意欲や学ぶ楽しさを失わないための工夫を行うことで、学ぶ楽しさや積極的な授業への参加を促す必要があった。意欲的な生徒が多かったため、授業の内容に対する意欲は受験対策であっても高く持ち続けることができ、積極的に学習を深めていくことができた。



成果と課題

成果

授業の内容が受験と強いつながりがあったとしても、自らの生活との関連を考えることができていたので、意欲を持って授業に取り組むことができていた。さらに受験の中にも国語の楽しさを生徒自ら探し出すことができ、内容について深めることができたので、大きな成果を得られたと実感している。

課題

授業の内容としては満足できるものであったが、生徒によっては受験により、長期間欠席になる生徒がいたり、気持ちに余裕が持てない生徒がいたりしたので、計画的に準備をしていた授業を断片的にし受けられなかった生徒がいたことが課題として残った。改めて、国語を学ぶ楽しさや、国語は生きる力となることに気付けるように、1学期に始まった授業が3学期に完結することを生徒にわかりやすく説明できる指導計画を作成することが今後の課題として挙げられる。